

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕 事 の 内 容	民間保育園施設整備補助事業			
担当部署・課長名	保育課	課 管 理 ・ 給 付	係	課長名 関田 孝志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	2 - 4	-
【施策名】 児童福祉の推進	総 合 計 画 書 (ページ)	59	

予算名	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 2	児童措置費	事業 11	民間保育園施設整備補助事業費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-------	----------------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
	民間保育園での保育を希望する保護者	→ 0～5歳の児童数（4月1日時点）
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
	民間保育園での保育の実施	→ 定員の増員数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）
	民間保育園の園舎の建替えを行い、定員増を行う。	→ 定員の増員数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	4,426	4,321		
	成果指標	②の数値	人	84	0		
	目 標	②の目標値	人	84	0	11	150
		目標値設定の考え方	定員増をを行い、待機児童解消を図る				
	活動指標	③の数値	人	84	0		

3 経費	事業費（実績）		円	0	637,224,000	10,840,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	0	77,738,000	1,318,000	
		特定財源	円	0	559,486,000	9,522,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.9	0.3	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	0	7,427,700	2,473,200		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	0	644,651,700	13,313,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	
	民間保育園の整備に対し補助する年度において事業を開始し、当該事業の実施により待機児童解消を図ります。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	なし	

仕 事 の 内 容	民間保育園施設整備補助事業			
担当部署・課長名	保育課	課 管理・給付	係	課長名 関田 孝志

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	年間を通じて、保育園の定員拡大に係る要望を受けている。			

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 事業の改正頻度が多く複雑である。また、一定の専門性を要することから、事務の引継ぎが必要となった場合、事務処理時間が多くなることが見込まれる			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 平成30年度については、平成29年度に移転した保育園の旧園舎の取り壊しを実施した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 平成30年度については、取り壊し部分のみの事務であり、単純な事務であったが、(1)にあるとおり、とても複雑で、事務処理時間が多くなることが見込まれる。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 基本的なスケジュールやマニュアル、タスク管理表等の整備が必要であると考える。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 なし			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。

9	上半期終了時点の状況（平成31年9月末記入）			

10	平成32年度に向けた方向性（平成31年9月末記入）			